



青山 bui 新聞

青山眼鏡株式会社
bui 事業課
〒103-0023
東京都中央区日本橋本町1-9-4
Daiwa 日本橋本町ビル 3F
TEL 03-3231-8131
FAX 03-3231-8132

2015 No. 2

プロの目線から

今回から始まったこのコーナーはbuiをお使いのプロフェッショナルなお声をお届けします。
第一回は有限会社アバンティの萩原英士様です。

私は普段はサーキットでモータースポーツの写真撮る仕事が多いのですが、buiのメガネには大変助かっています。日差しが強い日のサーキットは照り返しが強烈で、buiのメガネを使う前は長時間撮影すると頭が痛くなることがありました。でも、buiのメガネにしてからはこの悩みが無くなりました。

200km/h以上のスピードで走る車をファイナダーで追いかける時も、輪郭がハッキリ見えて楽ですね。

撮影が終わるとパソコンで写真のセレクトをするのですが、今度はノートパソコンのモニターで何枚もの写真を見なければなりません。遠くを見る作業から、近い距離のモニターを見る作業に変わっても違和感が無くなったのには驚きました。この作業が終わると車での移動が待っています。でも、buiのメガネにしてからは夜でも高速道路の標識がハッキリ見えるので、安心して長時間の運転ができますね。



みなさまのお声

神奈川県の大和市、イオンモール大和にございます「メガネのアズアイム」の棚澤健二と申します。

私どものお店は、buiレンズの取扱いを始めて約五年ほど経とうとしています。

少しずつですが、着実に販売枚数も増えてきており、リピーターのお客様も増えてきていると感じています。

そして、ここ最近で感じるのは「buiの取り扱いをしていますか?」という、お客様からの指名買いの声です。

それはブルーライトカット、PCメガネ等、以前よりもPCストレスに悩んでいる方々が増え、お客様自身が情報収集を積極的に行っているからだと思います。

特に働き盛りの男性の方は、ブルーライトカットレンズをお探しにお店にいらつしやいます。デスクワークや運転も多い方というのは、パソコンの見え方も優しく運転時の遠くのコントラストも良いbuiレンズが最適です。

そこでbuiを購入して頂き、実際にその見え心地を体感されたお客様は「また前回のbuiでお願いします」と、最初こそ「ビュイ」という名称は知らなかったとしても、次回購入時はご自身が使って「快適だったこのレンズは何なのか?」という情報をとても良く理解されています。そして、またそのお客様がお買い求めに来た時には「〇〇さんからbuiを購入したい」と、良いレンズを紹介してくれてありがとう!という声を、私は肌で感じます。世の中には「モノ」は溢れています。

何処で買うか?いくらで買うか?というよりも「だから買うか?」というのが、

今私たち眼鏡業界には一番大切な事だと思えます。そしてbuiレンズを販売していて、buiレンズに「だけ」お客様から頂く言葉は「見え心地が、優しいんだよね。」

私たち眼鏡販売店は、良い検査、良い加工をして「見え心地の良い眼鏡」を作るのが仕事です。

私は約十五年、まだ短い間ですが眼鏡業界で販売に携わっていますが「見え心地が優しい」とお客様から言われたのは、buiレンズ以外にございません。

これからもbuiレンズを、他との差別化を図る「オンラインワン」のレンズとして

お客様の視生活に優しさを提供していきたいと思えます。

アズアイム棚澤様より



キューティールバイ まゆちゃん パーティライブ

2月20日都内ライブハウスでキューティールバイまゆちゃんのパーティライブイベントが開催された

まゆちゃんは、福井県眼鏡協会公認の「めがね大使」。公の場では赤いメガネを着用している。

イベント当日のドレスコードは、めがね(心のめがね可)だった為、メガネを掛けていないファンには、まゆちゃんが用意してきた伊達メガネを貸し出して、全員がメガネ姿に。

今回のイベントでは抽選会も行われ、bui事業課の篠崎明弘主任が登壇して、プレゼンターを務めた。



特賞のブラックアイスを紹介する、まゆちゃん(左)と篠崎主任